



文責 本宮小校長 佐久間仁

本 つて楽しいね



本校では、しらさわ夢図書館やボランティアと連携して、読書に関する様々な取組をしています。先週は、はなやま・みずいろ学級の子どもたちが、「アニメシオン」として学校司書の先生に大型絵本や紙芝居の読み聞かせをしていただきました。今週は、「出張おはなし会」やボランティアによる朝の「読み聞かせ」、移動図書「モトム号」の来校も予定されています。子どもたちは、月曜日と金曜日の朝は「読書タイム」として十分間の読書活動を継続して行っています。本を読むことで、知識を得たり、創造力を養ったりするとともに、豊かな心を育むことができると考えています。業間や昼休みなど、休み時間には本を借りる子が多く、貸出しコーナーはいつも

子どもたちが列をつくっています。これからも、ぜひこのよい習慣を続けさせていきたいと思っています。



読 書アンケート



読書に関する調査アンケート（R6）

* 回答率四十七・九％（は前年度との比較）

①家庭での読書や読み聞かせの平均時間（一日あたり）

・ほとんどない 四十二・六％（二六・四p）

・三十分以内 四十二・一％（一六・〇p）

・一時間 十三・九％（一五・五p）

・二時間以上 一・五％（一〇・三p）

②電子書籍の利用時間（一日あたり）

・ほとんどない 九十六・〇％

・三十分以内 三・五％

・一時間程度 〇・五％

③家庭での児童の電子端末の平均時間（一日あたり）

（テレビ）

・なし 五九・〇％（二一・六p）

・一時間未満 三十五・六％（一七・八p）

・一～二時間 三二・七％（一七・一p）

・二時間以上 二五・二％（一三・〇p）



〔スマートフォン〕

・なし 四十七・〇％（二二・四p）

・一時間未満 二五・七％（一四・一p）

・一～二時間 一七・八％（一〇・〇p）

・二時間以上 七・四％（二・一p）

〔PC・タブレット〕

・なし 四十九・五％（一七・二p）

・一時間未満 一七・八％（二・三p）

・一～二時間 一九・八％（一五・五p）

・二時間以上 一・九％（二・四p）

④読書が好きかどうか（子ども）

・好き 四十六・五％（二五・〇p）

・嫌い 十三・九％（一〇・二p）

・どちらでもない 三十九・六％（一六・〇p）

⑤読書が好きかどうか（保護者）

・好き 五十三・〇％（二二・四p）

・嫌い 五・九％（〇・七p）

・どちらでもない 四十一・一％（二一・六p）

⑥読書するように促してほしいか

・なつてほしい 九十五・〇％（二一・三p）

・必要ない 四・五％（一〇・八p）

⑦読書する子になつてほしい理由

・成績がよくなるから 一四・九％（一・九p）

・創造力や思考力が付くから 八十八・六％（一三・一p）

・さまざまな世界を体験できるから 五十三・〇％（一五・三p）

・生きる力が身に付くから 二二・八％（一・二p）

・その他（語彙力、理解力など） 三・〇％（一・四p）

⑧子どもが読書習慣を身に付けるために必要なこと

・学校で読書する時間を増やしたり、読書指導を受けたりする 四十八・五％

・公共図書館や書店などを活用して、より多くの本に出合う機会をつくる 六十一・九％

・その他（親も読書習慣をつける、実体験を通して疑問に思うことや興味のあることを調べたり補ったりする、段階的に読解力や要約力を育成する、探究心や好奇心、疑問の答えが本にあることに気付かせる、夢図書館を利用する）五・〇％



子どもが幼い時から読み聞かせなどをして、読書習慣を身に付ける 七十六・七％
・学校で読書する時間を増やしたり、読書指導を受けたりする 四十八・五％
・公共図書館や書店などを活用して、より多くの本に出合う機会をつくる 六十一・九％
・その他（親も読書習慣をつける、実体験を通して疑問に思うことや興味のあることを調べたり補ったりする、段階的に読解力や要約力を育成する、探究心や好奇心、疑問の答えが本にあることに気付かせる、夢図書館を利用する）五・〇％
今回の調査から、家庭における電子端末（テレビ、スマートフォン、タブレット等）の長時間利用がわずかに減少する一方で、読書や読み聞かせの時間が増加していることが分かります。読書が好きなお児童は減少していますが、保護者のほとんどが子どもに読書をしてほしいと思っています。そのため、小さい頃から読み聞かせをしたり、公共の図書館や書店などを活用して多くの本と出合う機会をつくったりすることを挙げています。
忙しい毎日ですが、週末など時間のある時に、親子で同じ本を読んだり感想を交流する「親子読書」に取り組んでみるのも一つの方法だと思います。お子さんと話し合いながら、我が家ならではの取組をしてみてはいかがでしょうか。